

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

たちばな しずか  
副市長 立花 静



### 私の決意

私は、副市長に就任する以前は、市職員として約30年間勤務し、中でも健康・福祉分野に長く従事させていただきました。そこでは多くの市民の皆さまから、様々な相談を受けたり、生の声をお聞かせいただき、地方自治の根幹である住民福祉の向上のため、微力ではありましたが、事業の企画立案をしてまいりました。この経験を生かし、市民の皆さまが安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、不断の努力をしてまいります。

私の主な担当は、民生保健分野です。少子高齢化の進展が大きな問題となっており、今年度は少子化対策と高齢化対策に重点を置き、施策を展開してまいりたいと考えております。

まず、少子化対策につきましては、何よりも子育てしやすいまちづくりが重要であります。本市といたしましては今年度から、妊娠期からの子育てに関する相談・支援を充実させるため、市内の3福祉事務所に「利用者支援担当職員」を配置してまいります。また、平成27年度からの子ども子育て支援新制度のスタートに向け、平成26年度中に「東大阪市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。皆さまの声を真摯に受け止めながら、社会の宝である子どもを健やかに育むことができるような計画を検討してまいります。

次に高齢化対策については、国立社会保障・人口問題研究所の予測では、2030年には本市は約3人に1人が65歳以上となるとされています。高齢者人口の増加に伴い、今後益々、老々介護の問題や、入所施設等の確保、認知症高齢者の問題などがクローズアップされてくることは間違いありません。今年度は「第7次高齢者保健福祉計画」と「第6期介護保険事業計画」を策定する年にあたり、これらの問題の対策について精力的に調査研究し、実効性のある計画づくりに邁進してまいります。

人口構造の変化やグローバル経済の進展に伴い、働き方や生活スタイルの変化、医療・介護・福祉への期待など社会全体が大きな転換点にあると思っております。このような変化の時代の中、市民の皆さまの声をスピード感を持って施策に反映できるよう、全力で職務の遂行に努めてまいります。